

# 緑化だより

No.36 平成21年3月号



ミツマタ 平成20年3月22日撮影

○きのこのない食卓なんて  
○樹のあれこれ  
○研修会・イベント報告

○研修会・イベント紹介  
○花だより  
○お知らせ・案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)



## きのこのない食卓なんて

### 『第11話 制ガン作用について(8) カバノアナタケ』

ロシアの作家ソルジェニーツインの小説『ガン病棟』に登場する“チャーガ”は『カバノアナタケ』というキノコです。

白樺に生えるチャーガを煎じてお茶にして飲んでいた地方では、何十年もの間ガンに罹る人がいなかったといえます。広島県に白樺はほとんどないのでまだ見つかりませんが、北海道などではそういった効果があることがわかってから乱獲されていると聞きます。

写真に見られる黒い塊は、キノコではなく菌核と呼ばれる部分です。前号の『ブクリョウ』でも説明しましたが、菌が生き延びるための構造で、養分を蓄え、湿度が低くなるような厳しい条件にもキノコが耐え抜いていけるように助けているのです。“チャーガ”と呼ばれているのはこの菌核の部分なのです。子実体(キノコ)は樹皮の下で薄く広がっていて目立ちません。



カバノアナタケの菌核

## 樹のあれこれ

### 『アカマツ』 マツ科マツ属

広島県では、沿岸部から山間部までどこでもアカマツに触れることができます。

人間とアカマツの関係は深く、弥生時代後期の3世紀、日本の姿を現わしている「魏志倭人伝」では、クスノキ・タブノキ・カシ類などの照葉樹が書かれていて松は書かれていません。その後、6世紀から7世紀、日本の文化が発達した時代の飛鳥時代になるとアカマツが目立ち始め8世紀終わりごろの奈良時代になると普通に見られることとなります。

アカマツは樹脂を多く含み高温を発生するので陶芸や鍛冶屋の燃料、建築用材としての梁として、また水中では腐りにくいので橋脚の基礎の杭や坑木として利用されました。また、飴色の肥松は、茶托・お盆に使われます。戦時中、



アカマツの雄花



アカマツの幹肌

幹に櫛状に傷をつけ松脂を採ったアカマツは最近見受けられなくなりました。

昭和40年代後半からいわゆる「松くい虫」(マツノザイセンチュウ病)によってマツの枯損は広がり、今なおその被害は続いています。緑化センターでは林内にアカマツ林が点在しています。



松食い虫: マツノザイセンチュウ病により枯損



# 花だより

アセビ ツツジ科アセビ属 *Pieris japonica*

常緑の低木～小高木で、落葉期の森林ではよく目にする樹木の一つです。中庸樹であり、日向から日陰まで生育することができ、適応性の高い種類です。

森林では鹿の食害が問題になり、緑化センターでも色々な植物が被害にあっていますが、アセビは**有毒植物**(有毒成分: グラヤノキシンなど)なので被害を受けることはありません。宮島や奈良公園など鹿が多く生息している場所ではアセビは多く見られます。

花は2～5月ぐらいまで咲き、垂れ下がった花序に細い壺形の白花を下向きに咲かせ、果実は9～10月に熟します。様々な園芸品種も流通し、赤花や桃色、矮性種、覆輪種などあります。漢字で書くと**馬酔木(あしび)**ですが、名前の由来は馬が葉を食べると酔ったようになり、アシビレ→アシビ→アセビとか、アシ(悪)ミ(美)からとも言われています。

学名はピエリス・ジャポニカで、ピエリスとはギリシャ神話にでてくる芸術の女神達「ミューズ」が住んでいたマケドニア地方ピエリア(*pieria*)に由来しているそうです。

ちなみにモンシロチョウ属(モンシロチョウやスジグロシロチョウ)の学名も *Pieris* と同じで、語源も同様です。共に『**白**』の特徴が共通点と言えるのかもしれませんが。

3月9日の誕生花\*で花言葉は「犠牲」「献身」「清純な心」「二人で旅をしよう」などと言われています。(※: 誕生花は国や地域によって諸説が分かれています)



アセビの花 平成19年3月28日撮影

## 研修会・イベント報告

2月22日(日) 『節分草寄植教室』

『以前にカタクリの栽培方法を尋ねられたことがありますが、植物の栽培等の経験を尋ねると「あまり無い」と言う返事が返ってきました。それは猫や犬を飼ったことの無い人がパンダを飼うようなものです。』一瞬にが笑いをしてしまいそうな、講師の長井先生のきつい言葉から始まりましたが、それほどカタクリや節分草は栽培が難しいということなのでしょう。



節分草寄植教室 実施状況



節分草の寄植(右側) その他: ハナカンザシ・ニリンソウ

その後、プロジェクターを使って鉢・園芸用土・置き場所・水やり・肥料・病害虫・増殖等、節分草の育て方の説明をされました。植物が枯れる最大の原因は水切れで、冬と夏に注意が必要です。特に冬の水やりは凍結させないようにやるのが大切になります。

寄植えは6号の素焼き鉢に背の高いハナカンザシを後に植栽し小さな石を置いてその前に節分草とニリンソウを植えつけました。3年くらいは植替えをしなくても済むそうで、夏冬の水やりに注意し枯らさないようにという話でした。

# 研修会・イベント紹介

○3月7日(土)『早春のバードウォッチング』9:00～12:00 管理事務所前集合

講師:日鳥連会員 吉見 良一 先生 双眼鏡持参

園内の散策路を歩きながら、野鳥観察を行います。昨年はカワラヒワ・ルリビタキ・ミヤマホオジロ・シメ・ジョウビタキ・クロツグミなど16種類が確認できました。野鳥に興味のある方から探鳥会などに参加したことがないという初心者の方も気軽にご参加下さい。

○3月13日(金)『3月の自然探勝』10:00～12:00 管理事務所前集合

講師:石橋 昇 先生

アテツマンサク・アブラチャン・アオモジ・ダンコウバイなど早春に開花する樹木を中心に植物観察会を行います。穏やかな早春の一日をお楽しみください。

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○野鳥写真展 開催中～3月8日(日)迄

野鳥愛好家が撮影した野鳥写真41枚を展示しています。野鳥が見せる一瞬の表情を映し出しており、躍動感が溢れた作品になっています。

○緑化センターの花写真展 3月12日(木)～3月29日(日)迄

センター内で撮影した春の花の写真を紹介します。

○冬のバードカービング展 開催中～3月22日(日)迄 開催

木彫りで作られた冬鳥の展示。写真と比較してみてください。

◎ 平成21年度オリジナルカレンダーについて

平成21年度緑化センターオリジナルカレンダーができました。入手を希望される方はレストハウス・管理事務所までお越しください。(数量に限りがあります)

◎ 平成21年度緑化研修計画について

平成21年度に実施する研修会・イベントの予定が決まりました。皆様のご参加お待ちしております。尚、実施日の変更や中止などもありますので、参加される際は事前にご確認下さい。

◎ グラウンドゴルフができます

3月から集いの広場でグラウンドゴルフの利用を始めました。利用は無料で事前の予約が必要です。どなたでもご利用いただけます。健康の為にグラウンドゴルフを始めませんか。詳細は管理事務所までお問い合わせ下さい。

◎ さくら祭りについて

4月1日(水)～4月30日(木)まで『さくら祭り』を開催いたします。期間内は様々な研修会やイベントを実施いたします。サクラを中心とした春の花と共にごゆっくりお楽しみ下さい。

◎ きのこ栽培ボランティアを募集しています

きのこ栽培を行うための植菌作業・ほだ木の運搬・整理等のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。希望者は管理事務所までご連絡ください。

3月22日(日)に活動を行います。